

平成29年度
地域日本語教育
スタートアッププログラム
～事業の状況について～

佐賀県 基山町

平成30年3月23日

基山町

まちづくり課協働推進係

基山町8つの強み

1

基山町

新・基山構想

1 基山町8つの強み

基山町8つの強み

今後の基山町の発展を考えると、まずは基山町ならではの基礎的特性(発展の可能性)を整理する必要があります。この特性を「基山町8つの強み」として、可能性に埋没させることなく活用し、現実のものとしていくために、積極的で戦略的な取組が必要です。



1 福岡都心から わずか20分の立地条件

基山町は、福岡県筑紫野市・小都市に隣接する佐賀県の東の玄関口で、非常に立地に恵まれており、九州内交通の基幹となる国道3号やJR鹿児島本線、高速バス停など九州の陸上交通の要衝地です。



2 九州で最も集客力のある 基山パーキングエリア

九州自動車道で最も通行台数が多い筑紫野IC・鳥栖JCT間に位置し、同自動車道のPAの中では最も規模が大きく、高い集客力があります。平成19年から高速バスの乗り継ぎ拠点としての役割も果たしています。



3 日本に誇る 基肆(きい)城の歴史

基肆城跡は、天智4年(665年)に大野城跡(福岡県)とともに築かれた日本最古の本格的な「朝鮮式山城」です。歴史的・学術的価値が非常に高く、佐賀県内で初めて国の特別史跡に指定された日本を代表する史跡のひとつです。



4 時代をリードする 優良企業の集まるまち

九州自動車道、国道3号の巨大物流拠点である立地を強みに、日本の明日を担う“ものづくり”の優良企業が集積。made in 基山を日本中にお届けしています。



5 15分圏内で全てがそろう コンパクトシティ

住宅、店舗、病院など、生活に必要な機能がJR基山駅を中心とした徒歩15分圏内に全てそろっており、基岡都市圏と生活空間をともにしながら、緑豊かで質の高い暮らしを実現しています。



6 自然災害の少ない 安心安全拠点

極めて自然災害の少ない地域でありながらも、消防団の組織力や技能が高く、平成25年度には地域防災計画を見直すなど、自主防災に対する意識の高いまちです。



7 多彩な人材の宝庫

スポーツの盛んな基山町は、日本を代表する選手をこれまで数多く生み出してきました。また、町民栄誉賞を受賞された漫画家原泰久氏など文化芸術においても多彩な人材を多く輩出しているまちです。



8 県境を越えた 広域ネットワーク

高速道路の九州自動車道と大分・長崎自動車道が交わるクロスポイントに位置する利便性を活かし、福岡県久留米市・小都市、佐賀県鳥栖市・基山町で「筑後川流域クロスロード協議会」を設置するなど、県境を越えた地域の一体的な発展を図っています。



新・基山構想

1 基山町8つの強み

外国人の町内住民登録者数

	H28.12末現在				H29.12末現在			
国 籍	男	女	合 計	世 帯 数	男	女	合 計	世 帯 数
韓国	7	4	11	9	7	3	10	9
中国	18	8	26	25	24	16	40	39
カナダ	0	0	0	0	1	0	1	1
アメリカ	4	1	5	4	3	1	4	3
フィリピン	6	7	13	7	6	8	14	8
タイ	0	4	4	4	1	4	5	4
ジャマイカ	1	0	1	1	1	0	1	1
インドネシア	0	0	0	0	1	0	1	1
ルーマニア	0	1	1	1	0	1	1	1
メキシコ	0	1	1	1	0	1	1	1
ロシア	1	0	1	1	1	0	1	1
トルコ	0	0	0	0	0	1	1	1
マレーシア	0	0	0	0	3	0	3	3
ネパール	4	0	4	4	0	0	0	0
シンガポール	0	1	1	1	0	1	1	1
カンボジア	0	0	0	0	3	0	3	3
ベトナム	11	41	53	53	13	51	64	64
スリランカ	0	0	0	0	8	0	8	8
台湾	0	1	1	1	0	3	3	3
フランス	0	0	0	0	0	1	1	1
合 計	52	69	122	112	72	91	163	153
外国人比率	0.62	0.75	0.70	人口17,389	0.87	1.00	0.94	人口17,413

在留資格別住民登録者数 (H28.12末現在)

在留資格	人数
技能実習生	9 0
永住者	2 0
特別永住者	1 0
定住者	5
留学生	1 3
その他	2 5
合 計	1 6 3

- 基山町では、在留外国人数がH27末で95名からH29末で163名と増加しており、今後も企業への調査から増加傾向で推移するものと考えられる。
- 近隣市もH28末で、小郡市591名、筑紫野市549名、鳥栖市807名(H27末)となっている。近隣市を加えると2,000名を超える外国人が住んでいる。
- 今年度ニーズ調査を行った5社だけでも250名を超える外国人が町内に入ってきている実態が明らかとなった。

基山町多文化共生推進プラン(案)

誰もが住みやすく、活躍できる基山町を目指して

- 1年目

「顔が見える」まちづくり

- ・外国人住民の実態調査: 在日年数、職業、年齢など外国人の属性の把握、日本語学習のニーズ調査と分析
- ・日本人の意識調査: 外国人住民に対する受け入れ意識、まちづくりに対する関心喚起

- 2年目

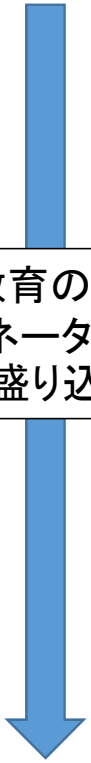
「共に生きる」まちづくり

- ・日本人町民と外国人町民とが交流を深める取り組みを実施: 日本語学習ひろば(仮称)の開設
- ・多文化共生の担い手の育成

- 3年目

「共に創る」基山町

- ・基山町多文化共生推進プランの策定と事業推進
- ・町民による社会活動の推進: NPO等の組織体制の構築



日本語教育の要素を
コーディネーターの助
言により盛り込む

町民と企業と行政の「総働」でダイバーシティ戦略で誰もが取り組むまちづくりの推進

平成29年度 基山町における多文化共生の取り組み概要

○今年度は、現状の把握と住民意識の高揚を図ることに取り組んだ。

『多文化共生のための実態調査』

主旨	多文化共生を進める基礎資料として、町内在住外国人の生活実態を知ることが大切であり、将来的な利用を考え、外国人向けは、属性、家族構成、教育、福祉・医療、納税、雇用、消費、居住、子育てに至るまで、日本人や企業担当者へは多文化共生社会に対する意識調査を目的にアンケート調査を実施する。
調査対象	町内在住外国人(144人 H29.7末時点) 町内在住日本人(約500人) 町内企業(従業員10人以上)
調査員	基山町地域日本語教育コーディネーター(9人)+協働推進係(2人)
調査方法	町内在住外国人へは調査員(2人~3人)が直接訪問し、説明・回収町内在住日本人へは区毎に20人×17区で340人、区長依頼し、回収、残りは、調査員が街頭や公共施設で依頼し、回収町内企業へは協働推進係で直接訪問し、説明・回収する。
調査期間	平成29年9月21日(木)~10月13日(金)
集計作業	平成29年10月18日(水)~ 事務局・調査員
分析作業	平成29年10月25日(水)~ 事務局・調査員
回収状況	町内在住外国人 49人 町内在住日本人 417人 町内企業担当者 26人
公表	広報きやま12月15日号で結果公表

※調査員(コーディネーター)が直接、外国人宅を訪問し、アンケートの趣旨説明と回収まで行ったことにより、日本語能力等を直接知ることができ、つながりも作ることができた。

「シンポジウム開催」



「多文化共生のまちづくりシンポジウム」
～誰もが住みやすく、活躍できる基山町を目指して～

14:00 主催者挨拶 基山町長 松田 一也
14:15 基調講演「基山町多文化共生のすめ」
講師 堀 永乃 氏

15:10 休憩
15:15 パネルディスカッション
コーディネーター 堀 永乃 氏
パネラー 松田町長、第7区南水區長、
事務 力ノックワン さん(タイ出身)
藤 健 さん(台湾出身)
しに ジェームス ケッス さん(カナダ出身)
16:30 終了(※アンケートにご協力ください)

入場無料
定員 100名

開催日時 平成29年11月19日(日)
14:00~16:30(13:30 受付開始)

会場 基山町民会館小ホール


託児所も
あるよ♪


講師 堀 永乃 氏
(一社)グローバル人材
サポート浜松代表理事

プロフィール
一般社団法人グローバル人材サポ
ート浜松代表理事、一般財団法人自治
体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、文化庁地域日本語教育推進ア
ドバイザー、多文化共生や人材育成、
日本語教育等に関する研修や講演、多
数。主な書籍は「やさしい日本語」とイ
ラストでわかる全録の2冊。

このシンポジウムは、一般財団法人国際化協会(シンパ)による、地域国際化推進アドバイザー派遣事業によって、実施されています。

ご参加、お待ち
しております♪



【お問い合わせ先】
〒841-0204 佐賀県三基郡基山町宮原6-6-5
基山町役場 まちづくり課 協働推進係
TEL 0942-92-7935 FAX 0942-92-0741
e-mail kyodosuushin@town.kiyama.lg.jp

日本語教室の開設に向けた準備・検討(会議の回数や参加人数等)

佐賀県 基山町データ

【状況】

総人口 : 17,361
外国人人口 : 144
主な在留資格: 技能実習68
永住者17
特別永住者12
定住者11
留学生7

【アドバイザー】

尾崎 明人(名古屋外国語大学)
堀 永乃(グローバル人財浜松)
吉田 聖子(川崎市国際交流協会)

【コーディネーター】

貞松 明子(カスタネット)
中村 静佳(きいまん)
中野 佐智代(きいまん)
中島 敏子(きいまん)
久保 隆博(きいまん)
木村 司(基山町日中友好協会)

○コーディネーターの主な活動

- 1 ニーズ調査: 13(H) 2 体制整備のための調整: 19(H) 3 人材育成のための調整: 10(H)

○アドバイザーによる主な活動

- 1 町の持つ資源・人材の活用に関する助言⇒魅力ある町づくり…外国人支援・多文化共生の推進
- 2 町の概要・視察から、今後の活動についての助言(拠点場所, 人材確保, 日本語教室での実施内容)
- 3 外国人交流, イベントに対しての助言⇒今後の展開, 交流が広がっていく展開方法
- 4 外国人ニーズの調査についての助言
- 5 日本語教室の進め方に対する…ボランティアの発掘, 確保, 教材となる資源について

○平成29年度取組実績

団体名	取組実績 平成29年度					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
佐賀県 基山町		・地域日本語教育スタートアッププログラムミーティング ・事業計画作成・提出 ・基山町での日本語教室設置検討に向けたプロジェクトチームの人選と選任 ★アドバイザー派遣★	・第1回アドバイザー会議 ・文化庁から派遣されるアドバイザーによる町長への趣旨説明 ・今年度の取り組み概要の検討 ★アドバイザー派遣★	・コーディネーター会議	・第2回アドバイザー会議 ・アンケート調査内容等の詳細な協議 ・多文化共生シンポジウムの内容等の詳細な協議 ・コーディネーター及び庁舎内プロジェクト担当者との会議 ★アドバイザー派遣★	・在住外国人、日本人及び外国人雇用企業担当者に対するアンケート調査を実施 ・コーディネーター会議

団体名	取組実績 平成29年度					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
佐賀県 基山町	・アンケート調査の収集・分析を行い、多文化共生や日本語教室に対するニーズと課題把握を行った	・第3回アドバイザー会議 ・多文化共生シンポジウムを開催し、多文化共生社会の実現に向けた町民意識の喚起を行った ・コーディネーター及び庁舎内プロジェクト担当者との会議 ★アドバイザー派遣★	・来年度の提案書作成	・第4回アドバイザー会議及びコーディネーター会議 ・今後のスタートアッププログラム全体像の共有と役割確認 ★アドバイザー派遣★	「先進地域での日本語教室」の視察及び意見交換会 - 次年度事業計画作成のためのコーディネーター会議	次年度事業計画作成のためのコーディネーター会議 システムコーディネーター会議

○平成30年度課題

- ・基山町の現状把握はできたものの、今後の基山町における事業展開を考えていく上で、事業を主体的に動かすことのできる人材の育成が必要。
- ・まちづくりとしての日本語教育をどのように企画・運営・実践していくのか、コーディネーターと情報を共有して進めていく必要がある。
- ・町民の意識啓発を更に推進し、多文化共生施策に位置付けた日本語教育を創る基盤を強める必要がある。